

# Adobe Experience Platform

## Configure and Manage Adobe Experience Platform

(Experience Platformの設定と管理コース)

### ■ コース目的：

Experience Data Model (XDM) スキーマとデータセットの作成方法を学習します。ソースコネクタ、API、ストリーミング取り込みコネクタを通じて、作成したデータセットにデータを取り込みます。また、データ使用ポリシーと結合ポリシーの作成、送信先とデータ監視ダッシュボードの設定、クエリでデータをデータレイクから取得したり、取り込み用データの準備についても学習します。受講対象者：データエンジニア、データアーキテクト、技術系ユーザ、データサイエンティスト

### ■ 実施日数/時間：2日 / 10:00～17:00

### ■ 前提条件：Adobe Experience Platform の用語やUIについての基本的な知識、「Adobe Experience Platform概要コース」を受講済みか、同等の知識

### ■ コース内容

章	内容	実習有無	章	内容	実習有無
1章	はじめに Experience Platformの顧客データ		6章	宛先に対するリアルタイム顧客プロファイルデータのアクティブ化 リアルタイム顧客プロファイルや、オーディエンスを設定し、宛先を使って外部への配信の仕方についてご紹介	
2章	顧客データの収集、変換、出力や、管理のされ方など顧客データの概要についてご紹介	あり	7章	Experience Platformにおけるデータフローとクエリーデータの監視 データの監視や、クエリーサービスの利用の仕方についてご紹介	あり
3章	Experience Platformにおける受信データのモデル化 Experience Data Model (XDM) スキーマ、データセットについてご紹介	あり	8章	Data Collectionを使用した他のアプリケーションとのインタラクション Data Collectionを使用したデータ取得の実装 (Web SDK) について概要をご紹介	講師デモ
4章	Experience Platformへのデータ取り込み Experience Platformへのデータ取り込み方の種類や、コネクタの利用の仕方、ストリーミング取り込み、APIを使った取り込みのやり方などご紹介	あり	9章	取り込み用データの準備 Experience Platformに取り込むデータの準備やマッピング時の計算フィールドの設定や、エラー解消についてご紹介	あり
5章	データ使用ポリシーの設定とデータハイジーンの維持 データ使用におけるポリシー設定によるガバナンス設定や、データハイジーンの維持のための管理についてご紹介	あり	10章	効率的なXDMスキーマの設計 XDMスキーマの効率的な設計についてご紹介	なし
	ユーザーアクセスと権限の確認 Experience Platformでのユーザーの権限管理や、設定を外部に運ぶためのパッケージについてご紹介	講師デモ			